

松川町立松川中学校



(1) 学級数 14 学級

(2) 児童・生徒数 333 名

(3) 職員数 44 名

(4) 学校紹介 <https://town-matsukawa.info/jh/>

本校は、町内唯一の統合中学校として今年度で創立 60 周年を迎えます。学校教育目標「自ら考え、正しく判断し、行動できる生徒」の実現に向け、互いの良さを認め支え合う人間関係を大切にして、生徒同士が対話し考えを練り上げる授業実践に力を入れています。

(5) 日常的な情報機器の活用

① Windows タブレットの教科での活用

各教科では、Windows タブレットを活用し、Google Classroom や Canva を利用した協働的な学びや、課題作成時に「投稿再利用」を活用した働き方改革も進められています。教室のモニターや電子黒板も併用しており、生徒の端末には e-board や e-ライブラリが整備され、教科の復習やスタディタイム（自学の時間）などで生徒が自由に利用しています。

具体的には、以下のような活用例があります。

- ・スプレッドシートや Google スライドによる他者参照や学びの振り返り（全教科）
- ・作曲ソフトを用いた作曲（音楽）

- ・スティック PC を活用した廊下モニターでの作品展示（美術）
- ・録音機能を用いた歌唱テスト、音読テスト（音楽、英語）
- ・Canva を利用した作戦会議（体育）
- ・Canva による新聞作り（総合的な学習の時間など）

② Windows タブレットの授業以外での活用

生徒会では、委員会ごとに Google Classroom を通じて連絡を共有しています。また、Canva の共同編集による意見集約や、Google フォームを用いたアンケート、動画編集なども行われています。

部活動では、Google Classroom を通じて連絡を共有するほか、スプレッドシートでの意見集約・共有が行われています。

職員間では、Google Chat や職員室のモニターを活用した情報共有を行っています。職員玄関には、Google スライドや Canva で作成した学校紹介を、スティック PC を介して放映しています。

学校には ICT 支援員が常駐し、機器の整備や操作、授業での活用補助、機器の修理などを行っており、職員が情報機器を活用しやすい環境が整っています。



【意見を共同編集でまとめる生徒】【出された意見をもとに対話する生徒】

(6) 課題等

本年度の研究テーマである「複線型の授業づくり」において、情報機器の活用を学校全体でチームとして取り組むことが課題です。これまでの一斉型の授業から脱却できなかったり、活用のイメージが湧かなかつたりする職員も少なくありません。職員の ICT 活用能力の底上げを図り、対話のある授業づくりに向けて、教科会やチーム研修会などの小グループ研修、職員の相互参観、全体研修などをいかに位置づけるかが今後の課題です。